

着任あいさつ

地元の病院に勤務できて

病棟師長 清水 弘子



平成 29 年 4 月から竹丘病院 1 病棟の看護師長として勤務させていただいております。

清水弘子と申します。どうぞよろしくお願い致します。

看護職に就いてから結婚、子育てをしながら働き続け、幾つかの施設を経験いたしました。多くは総合病院の一般病棟勤務で、前施設では地域の病院や施設、訪問看護ステーション等と連携をとり退院支援を行う毎日でした。

今回縁あって竹丘病院での勤務を始めますと、ここでは地域の病院として患者さんを受け入れる側であり、今までとは異なる病院の役割の違いというものを感じています。

私は次に働く先は是非地元でと考えていましたが、実家は竹丘で私自身も清瀬市民であることから、まさに地元の竹丘病院に勤務することができ大変うれしく思っております。

新しいスタッフや患者さんとの出会いもまた大切な縁と考えます。

一期一会を大切に、周囲への感謝の気持ちを忘れずに努めていきたいと思ひます。

着任あいさつ

思い出多き竹丘の地で再スタート

病棟師長 松尾 恵子



今年、4月1日に竹丘病院に採用となりました松尾恵子です。2病棟で看護師長として働いています。昨年3月に、それまで勤務していた国立病院を定年退職し、1年間、長年できなかった家の中の片付け、プチリフォーム、親戚との旅行、そして息子、娘の結婚式、と思う存分自分の時間を過ごしました。ただ、全く予想外の出来事は、出身地熊本の大地震でした。実家は被害はなかったのですが、姉の家が熊本市内で多少の被害を受けました。被害を受けたというものの、けががなかったことが幸いでした。災害は本当にいつ自分の身、家族の身に起こるかわかりません。そのことを痛感させられた年でした。

今は、25分の徒歩での通勤途上で、東京病院の「なかよし保育園」の看板を見ながら、3交代の看護師をしながら3人の子供たちを預け、多くの方たちに助けられた日々を思い出したりしています。今、こうして同じ竹丘の地にある病院で働くことができることに感謝いたします。

これといって特技や趣味はありませんが、お城を見たり、旧街道の宿場を回ったりするのが好きです。運動は、歩くことだけですが通勤だけで毎日7000歩は歩いていて健康維持にはいいかなと思っています。

今、竹丘病院の果たす役割の重要性を少しずつ学んでいるところです。病院の職員としての責務を果たしていけるように努めていきたいと思ひます。

よろしくお願ひします。